

AREA WEB

エリアウェブ

主な記事・紹介校・団体

- ・所長寄稿・一宮西小&近隣保育園
- ・山梨市立図書館・笛吹市生涯学習課
- ・塩山北中・菱山小・春日居中
- ・甲州市観光商工課・大和小中
- ・甲州市立保育所・ことぶき勸学院

峡東教育事務所 地域教育支援スタッフ Tel 0553-20-2731 Fax 0553-20-2733



Win the corona.

峡東教育事務所 所長 坂野 修一

笛吹市 山梨岡神社の藤 (市指定天然記念物)

風薫る爽やかな季節となりました。教育事務所の窓の外に見える大櫓の葉も、新緑が深緑にかわり、目に鮮やかに映ります。皆様方には、日頃より峡東教育事務所の業務に対しご理解とご協力をいただき、心より感謝を申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの感染拡大にブレーキがかかりません。3回目の緊急事態宣言が一部都府県に発出されるなど、第4波の真っ只中であります。(4月末執筆当時)そんな中ではありますが、学校からは、また、幼稚園・保育園・保育所からは、子どもたちの元気な声が聞こえてきます。感染症対策に万全を期し教育活動を進めている皆様方に、この場をお借りして心より敬意を表す次第です。

昨年度は、子どもたちが楽しみにしている様々な行事が実施できませんでした。事務所にいる私にはその姿が見えませんが、「行事中止」という悲しい知らせを聞いた子どもたちの姿を想像すると切なくなってきます。そして今年度も、既に修学旅行が延期になっている学校があります。しかし、中止ではありません。延期です。そもそも、緊急事態宣言やまん延防止重点措置によって行動を考えなければならぬその中心は、私たち大人であります。子どもが大きな影響を受けるなんてかわいそうでなりません。教育活動の中で、何がハイリスクで、何がローリスクであるか学べた昨

年度でした。「♪夜明けの来ない夜はないさ、あなたがポツリ言う〜♪」松田聖子さんが歌った名曲、『瑠璃色の地球』の出だしの歌詞ですね。夜明けはいつかはやってくるはず。マスクをつけていない、屈託のない笑顔が弾ける学校、幼稚園・保育園・保育所が見られるはず。その日が来るまで、皆で知恵を出し、コロナに勝ちましょう!

With coronaとは、Win the coronaです。

今年度は、所長以下16名の職員が、総務、学校教育、地域教育推進のそれぞれの担当において、山梨県の教育の基本理念「学び続け 共に生き 未来を拓く 山梨の人づくり」の下、それぞれの立場で事業を展開してまいりますので、どうぞよろしく申し上げます。そして、コロナ禍の中、工夫して行う峡東地域の様々な情報を、できるだけたくさんお伝えしていく所存です。「エリアウェブ」の引き続きのご愛読をお願い申し上げます。



昭和62年、石和東小学校教諭として教壇に立つ。御坂西小教頭、早川南小校長を経て令和2年度から教育事務所勤務。趣味・特技はソフトボール・VF甲府の応援に百人一首。

PDF版をご覧ください

『エリアウェブ』はPDFのカラー版を峡東教育事務所のホームページで掲載中です。右のQRコードをスマホのカメラから読み取り、ホームページを開けます。是非ご覧ください。



エリアウェブ
ホームページ

ホームページアドレス

<https://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-hym/chiiki/backnumber.html>

ご意見をお寄せください

『エリアウェブ』のご意見・ご感想・取材情報をスタッフ一同お待ちしております。右のQRコードをスマホのカメラから読み取り、メールでご連絡いただくか、表紙上部の連絡先にご連絡ください。



E-mail アドレス

kyoiku-hym@pref.yamanashi.lg.jp

お問い合わせ

峡東教育事務所 地域教育推進事業について

【主な業務】

- ① 峡東地域教育推進連絡協議会の運営
- ② 地域教育情報誌「エリアウェブ」の発行
- ③ 保幼・小・中・高・特支・大学の連携推進
- ④ 成人教育の推進（山梨ことぶき勸学院他）
- ⑤ 子育て・連携・人権に関する講演会の開催
- ⑥ 青少年教育の推進（やまなし少年海洋道中他）
- ⑦ 異校種間授業参観や県立学校からの出前講義の推進

【スタッフ】

○ 地域教育支援担当 渡辺 政子 & 標 輝人

昨年度までの活動を引き継ぎ、家庭・地域・学校の繋がりを大切にしたいと取り組んでいきたいと考えています。
みなさまのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



○ スクール・ソーシャル・ワーカー 森永 敦子 & 深澤 真澄

今年度も管内の児童・生徒の問題解決を支援するために、
2名のSSWがサポートします。(昨年度と同じスタッフです)何かあったら一人で悩まず、お気軽にご相談ください。



令和3年度 峡東地域教育推進連絡協議会 事業計画(案)

上記にありますように、峡東教育事務所では峡東地域教育推進連絡協議会（以下、峡地連）の事務局を担っておりますので、適宜、峡地連からの連絡を掲載させていただきます。

1 『総会』	日時	令和3年 7月8日 (木) 午後2時～2時40分
	会場	山梨市民会館 401会議室
	内容	峡地連の組織、事業報告、事業計画、会則、その他
2 『子育て講演会』 (山梨市教育委員会共催)	日時	令和3年 7月8日 (木) 午後3時～5時 (総会終了後)
	会場	山梨市民会館 ホール
	内容	テーマ:「子どもの心に愛の基地 ― 脳と心の育て方 ―」 講師: 山梨県立大学 人間福祉学部 教授 坂本 玲子 先生
3 『保幼・小・中連携セミナー』 (甲州市教育委員会共催)	日時	令和3年 8月18日 (水) 午後3時～5時
	会場	甲州市民文化会館 (甲州市中央公民館) 大会議室 (グループ協議)
	内容	テーマ:「発達段階に応じた子どもとの接し方」 講師: 公認心理師 臨床心理士 一瀬 英史 先生
4 『人権のための講演会』 (笛吹市教育委員会共催)	日時	令和3年 11月18日 (木) 午後3時～5時
	会場	いちのみや桃の里ふれあい文化館 多目的ホール
	内容	テーマ:「日本と世界とのかけはしに」 講師: 作家、元 富士川町教育委員 江宮 隆之 先生
5 『実務者会』 (実務者のみ参加)	日時	令和4年 2月4日 (金) 午後3時30分～4時30分
	会場	東山梨合同庁舎 103会議室
	内容	峡地連活動総括と来年度の計画について

※ 講演会・セミナーは今後の新型コロナウイルス感染症の拡大状況により実施会場・実施形態が変わる可能性があります。多くの皆さまにご参加いただけますよう、工夫してまいりますのでご協力をお願い申し上げます。

DVD動画による1年生と年長園児の交流

笛吹市立一宮西小学校

一宮保育園

都保育園

木の花保育園

昨年度は新型コロナウイルスの禍（わざわい）で多くの地域行事や学校行事が中止、または変更を余儀なくされました。反面、新しい生活様式に対応すべく様々な工夫が試された1年でもありました。一宮西小では、例年2月に1年生が近隣の3つの保育園の年長児を招いて学校生活の様子を紹介する交流会を実施してきましたが、昨年度は動画を撮影してDVDで配布する方法を企画しました。



紹介動画の撮影を行う1年生



動画の中に知っている「先輩」を見つけ、喜ぶ、一宮保育園の園児

児童たちは、さながらインターネット投稿サイトへの動画制作者になった気持ちで、プロデューサーのように紹介項目から台詞や動き方まで全てを自分たちで考え、アシスタントディレクターのように撮影補助も行いました。それぞれが分担を決め、保育園にはなく、小学校にあるものとして、体育館や図書館が存在すること、学習した後にテストがあること、係活動や清掃活動など授業以外にもたくさんの活動があることなどを伝えていました。撮影を終

えた児童たちは、「小学校の凄いところをたくさん見せて、小学生はこんなに頑張っているんだ、そんなこともできるんだ。」と感じて欲しい、と目を輝かせていました。園児へ紹介する目的で行った企画でしたが、改めて小学校生活の楽しさや自分たちの頑張りを再確認できる良い機会となりました。

後日配布されたDVDを視聴した園児たちによると、卒園してちょっぴり大人になったお兄さんお姉さんの姿を見て羨ましくなるとともに、小学校に入るといろいろなおもしろいことが変わる、ということがよくわかる作りで、小学校に行くことがとても楽しみになったそうです。



小学生の主体性に感心しつつも、4月からの自分の姿と重ねて視聴する、都保育園の園児



去年まで一緒に遊んでいたお兄さんお姉さんの立派な姿に、小学校への期待が高まる、木の花保育園の園児

～絵本の世界をより身近に感じよう～

山梨市立図書館

各市の図書館は、子どもたちが様々な書籍と触れ合う機会を増やせるように、多くのイベントを企画しています。山梨市立図書館では2月から月1回、小学3年生からお子さんに英字本の読み方を伝えたい保護者の方までを対象に「English Book Club」（英語の読書会）を行っています。使用する絵本は、バージニア・リー・バートン作の「Life Story（日本語版：せいめいのれきし）」です。この絵本は宇宙で地球が誕生するところから、恐竜など多くの生命の誕生と終焉を描きつつ最後には現在の自分の生涯へと繋がる壮大なストーリーで、小学生にも楽しめて、知的好奇心をくすぐる内容の世界的ベストセラーです。参加者たちは、講師の山梨英和大学の星野真理先生やボランティアの学生から、絵本に出てきた単語を優しく丁寧に教わり、声に出して発音しながら英文での表現を覚えていました。



英語と日本語で書かれた2冊の同じ絵本を読み比べる参加者



夢中になって段ボールの壁一杯に思い思いの絵を描き、楽しむ作家と子どもたち

また、3月21日には「子どもたちと避難所を過ごしやすい空間にするプロジェクト」と題し、夫婦で活動する絵本作家「accototo」さんを講師に迎えて、災害時の避難所でパーティションとして設営する段ボールに子どもたちと共に絵を描くという、おそらく全国初となるイベントを行いました。子どもたちが花や動物など好きな絵を自由に描いていくうちに、無機質な壁が次々と色鮮やかで見えるからに楽しい絵本の世界に変わり、唯一無二の素敵な共同作品が仕上がっていきました。もちろん、災害は起きずにこの壁が使われないことが理想です。しかし実際に起きてしまえば、長期に渡る可能性のある辛い避難所生活において、これらの作品が被災者の方々に癒やしや元気、明るい希望などを与えてくれることでしょう。

待ち遠しかった「スポーツ教室」 笛吹市生涯学習課・甲斐スポーツ振興会

笛吹市では3月20日、いちみや桃の里スポーツ公園体育館において、コロナウイルスの影響で延期になっていたフッキー体験塾「スポーツ教室」を開催しました。今年で3年目となるこのイベントでは、甲斐スポーツ振興会から元オリンピック選手などのトップアスリートを講師として招聘し、体験的に競技を楽しみながら、より専門性の高い指導を受けることができます。開催を待ち望んでいた多くの参加希望者のうち、抽選で選ばれた80名の子どもたちが「陸上（短距離）」「バスケットボール」「タヒチアンダンス」の3競技すべてを体験し、爽やかな汗を流しました。



等間隔に置かれたポイントを飛び越えて走ることで、脚を上げ、大きな歩幅で走る参加者



リズムに合わせて「情熱的」にステップを踏み、タヒチアンダンスを楽しむ参加者

陸上競技では、最初に自分の走り方で走った後、「腕を振る」「脚を上げる」「視線を前に」のコーチングを受けて練習した後走ってみると「急に速くなってびっくりした。」と驚いていました。バスケットボールでは発達段階に応じた数種類のボールが用意され、ドリブルをしたままの鬼ごっこやシュートに挑戦し、タヒチアンダンスでは独特の腰や踵の動き、ポーズなどに意識しながら全身を使って感情を表現し、それぞれに楽しい時間を過ごしていました。



バスケットボールでドリブルの基礎を教わる参加者

～目指せ！日本一のハーモニー～

甲州市立塩山北中学校

塩山北中では、全校生徒のほとんどが兼部のできる合唱部に所属しています。10年程前からその実力を高め、各種大会で優れた成績を収めてきました。今年度は「山梨県ボーカルアンサンブルコンテスト」で最高賞の金賞を受賞し、福島県で行われる全国大会への出場を決めました。「アンサンブル」は16名以内の少人数編成による合唱で、人数制限がない「合唱コンクール」に比べ、小規模校でも純粋に実力を競うことができます。3月9日、全国大会へ出場する生徒たちが、甲州市長や教育長の元を訪れて出場報告と決意表明を行い、市役所1階のストリートピアノ前で伴奏とともに発表曲などを披露しました。訪れた市民の方々は足を止め、中学生とは思えない、大人顔負けの美しいハーモニーに聞き入っていました。



美しい歌声を披露する合唱部員



地域一体でのボランティアで未来に貢献

甲州市立菱山小学校

菱山小はいち早く学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の設置推進校に指定され、地域一体となった活動を先進的に行ってきました。2月26日には、東京オリンピックの聖火リレーのコースとなる学校前のガードレールを、甲州市の皆さんと聖火ランナーの手塚さん（当時松里中）と共に、ブドウの樹木色に塗り替えるボランティアを行いました。

また、4月27日には、菱山財産区有林の一部にある学校林において感染症対策を万全に取る中で、「緑の少年少女隊植林体験学習」を行いました。この山林は菱山区の水源に位置し、長年に渡り地元の方々の手で整備され、治山治水に大きな役割を果たしてきました。自然や森林を守ってきて下さった地域の人々と触れ合い、緑の素晴らしさ・大切さを感じながら緑を守り育てる心を育むことを目的とし、平成21年より5、6年生により毎年約300本、12年間で3,600本のヒノキを植栽しました。児童たちは緑化思想普及啓発への取組について説明を受け、森林の役割や、山火事の被災について、植栽する木の特徴などを学び、実体験をもって一本一本の木が大切に植えられていることや、地域を守る森林の重要性についてより深く学習しました。



小学校前のガードレールを塗装する児童たち



足場の悪い急斜面で大変さを実感する児童



環境問題などについて講義を受ける児童

人と歴史と地域が繋がる勝頼公まつり

甲州市観光商工課・大和図書館
甲州市立大和小学校・大和中学校

今年で56回目を迎える「甲州市ふるさと武田勝頼公まつり」は、武田家終焉の地である景德院の境内で、勝頼公とその一族の霊を慰め、遺徳を偲ぶために行われていた田野地区の祭りが始まりでした。多くの関係者の尽力により年々規模が拡大し、現在では大和小中の子どもたちの演舞や大和図書館の企画展など、地域を挙げての一大イベントになっています。昨年は中止

でしたが、今年は4月25日に関係者のみ

の出席での法要が景德院の境内で実施されました。参加した児童・生徒からは「学校で朝も休み時間も太鼓の練習を頑張ってきました。残念ながら家族や地元の人たちには見してもらえませんでした。勝頼公に気持ちは伝わったと思います。」「私たちの伝統の勝頼公太鼓がコロナの中でも出来たことが何より一番嬉しかったです。」「今できることを自分なりに精一杯やりました。武田勝頼公の歴史や祭りについて、自分たちでも勉強し、気持ちを込めて伝えていきたいです。」といった感想が聞かれました。



大和小児童による天目山太鼓



大和中生徒による巫女の舞



大和図書館の勝頼公企画展

読書活動優秀実践校・文部科学大臣表彰

笛吹市立春日居中学校



ビブリオバトルで作品を発表しあう生徒

文部科学省と国立青少年教育振興機構は、毎年「子ども読書の日」に定められた4月23日を記念し、優秀な読書活動の実践を行った団体や個人を表彰しています。17年目を迎えた今年は、学校関係が全国から132校、そのうち中学校は24校のみでしたが、山梨県から春日居中が選ばれました。本来であれば東京の国立オリンピック記念青少年総合センターで文部科学大臣より直接表彰を受ける予定でしたが、残念ながら今年はコロナウイルス感染防止対策のため式典が中止となってしまいました。春日居中では長年にわたる「朝読書」や、平成25年から「ビブリオバトル」や「家読」の取り組みを進めていたことが高く評価され、表彰対象となりました。



地域連携で自転車安全点検実施中

山梨県自転車軽自動車商協同組合
峡東管内各小・中・高等学校

昨年10月から山梨県条例で自転車損害賠償保険加入が義務化されました。しかし、ブレーキやライトの故障など、整備不良の自転車に乗っていることは道路交通法違反になり、過失があったとみなされて事故を起こしても保険金がおりない場合があります。山梨県自転車軽自動車商協同組合では、各小中学校・高校の入学シーズンに合わせ、公認自転車安全整備指導員の資格をもつ組合員を派遣して安全運転教室や安全点検を実施しています。峡東管内でも各支部の組合員による点検整備が多くの学校で行われました。中でも日下部支部による日川高校と山梨高校での安全点検は40年以上も前から行われているそうです。塩山高校でも5年ほど前から塩山支部に依頼し、それまで教職員が行っていた整備点検を代行いただいています。今年も4月13日に、組合員の方々に簡易なブレーキやライトの不具合を次々とその場で直していただきながら、不備箇所を記載したタグを付けてもらいました。プロの目による厳しい点検をクリアした車両だけが、通学許可のステッカーを貼ることができます。生徒の皆さんには、自分の命を守るためにも、地域の安全を守るためにも、安心安全な自転車での運転をお願いします。



4月14日には日川高校、20日に山梨高校で点検を行った日下部支部の組合員の方々



塩山高校で点検を行った塩山支部の組合員の方々

交流の思い出も醸す味噌造り

甲州市子育て支援課

甲州市立 東雲保育所・大和保育所・奥野田保育所・松里保育所

甲州市立の四保育所では、年長児が合同で味噌造り体験活動を行っています。今年
は奥野田と松里との交流はできませんでしたが、4月20日には大和保育所の園児が
東雲保育所を訪れ、一緒に味噌造りをしながら交流を深めました。園児たちは最初に



東雲保育所で一緒に作業する大和保育所の園児

講師の「五味醤油」さんから動画で味噌や味噌造りについての説明を聞いた後、とき
おり「おいしくなあれ！」と掛け声をかけながら煮
潰した大豆に麴や塩をこねて丸め、樽に詰める作業
を行いました。樽は各保育所に持ち帰られ、半年ほ
ど発酵させて完成しますが、四保育所ごと、不思議
なほどに色も味も違って来そうです。合同作業を
終えた園児たちは「味噌造りは面白かった。」とい
った感想に加え、「最初は緊張したけど、(いつもより)
大勢で楽しかった。また一緒に活動したい。」と交流
の喜びを口にしていました。7年後には同じ中学校
で級友となり、この日の楽しかった交流や、味噌の
味を思い出してくれるかも知れません。



講師の説明を聴く松里の園児



味噌の原料である大豆のみでの味を見る奥野田の園児

ことぶき勸学院が再開されました！

山梨ことぶき勸学院

山梨ことぶき勸学院は、県の生涯学習の最高学府として長い歴史を誇る成人教育
機関です。昨年度はコロナウイルス感染防止のために休講していた峡東教室ですが、
今年から甲府教室と合同で再開されました。それに伴い、これまで中北教育事務所
が担当してきた甲府教室の運営協力を、今後は峡東教育事務所で担うことになりま



YCC県民文化ホールで行われた入学式で、学院長（県教育長）に誓いの言葉を述べる新入生代表

した。今年度は峡東地区から新たに9名の1年生
が入学し、4月13日の入学式と20日、27日
に行われた2教室の開講式にそれぞれ臨みました。これ
から2年間、級友の方々と共に山梨の芸術や歴史など
様々な分野を学び、学習成果発表会や学院祭
など、楽しいイベントもたくさん行います。来年度
以降も多くの皆さまにご入学いただき、いつか
また峡東地区に生涯学習の場が復活できま
すよう、ご協力をお願いします。



甲府教室の開講式で祝辞を述べる峡東教育事務所の坂野所長



甲府A教室 新入生



甲府B教室 新入生



峡東教育事務所からのお知らせ

- ※ 峡東管内の全小中学校、県立学校の「異校種間 授業参観 可能日一覧表」と県立学校の「出前授業一覧表」を各学校に配布しました。地域内での活発な交流にご活用ください。また、年度末には一覧表の活用、および交流事業の実施状況の調査をさせていただく予定です。ご協力お願い申し上げます。
- ※ 本年度もまた新型コロナウイルスの影響で、あらゆる地域教育活動の自粛が続いており、取材がままならない状況が続いております。どんな些細なことでも構いませんので、活動が再開しましたら是非、情報をお寄せください。エリアウェブの記事として、峡東地域に広く紹介させていただきます。